

第2回川口市協働推進委員会

平成30年6月27日（水）10時00分
川口市議会第3委員会室

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 報告事項

ア 「本市の協働の環境づくりと啓発に係るアンケート」の結果報告

(2) 審議事項

ア 本市における協働の環境づくりと啓発について

(3) その他

3 閉 会

配布資料一覧

資料 No. 1 「本市の協働の環境づくりと啓発に係るアンケート」結果

参考資料 No. 1 川口市協働推進委員会委員名簿

No. 2 町会及び自治会との協働事業等に関する調査について（一覧）

「本市の協働の環境づくりと啓発に係るアンケート」結果

(名簿順)

NO	委員	課題	手法、内容	その他
1	泉委員	市民活動する上で、様々な要望が上がると思うが、行政職員が対応できていないことが多く感じる。市民パートナーステーションの使い方なども柔軟性を持たせ、利用向上につながるようにして欲しい。	市民が主体的に活動するために、協働推進課の役割を明文化する。特に市役所内での横断的な調整役となり、責任の所在を明確化できるよう所内ルールを明文化することで、市民のために行政職員が活動しやすくなるのが川口市の発展につながると考えます。	協働推進課という名称が、誰と誰が協働するのか、わかりづらい。市民パートナーステーションという名称についても他市のように市民活動というキーワードが含まれているほうが親しみやすいのでは？広報・啓発活動も市民活動でできるような仕組みを考えるなど。大枠は行政で作って頂き、コンテンツは市民が投稿するなど今のSNSの仕組みを活かせば、技術的には簡単だと思います。
2	大谷委員	自分たちの活動だけではなく、もっと社会をよくするためにはどうしたらよいか？もっと目を外に向けて一見関係が無さそうな社会の課題に対しても、もしかしたら自分たちの力が役に立つかもしれない。そんな風に考えることが必要かと思えます。もっと広く社会に向けて向くべき視点が内向きになりやすいことが問題ではないでしょうか。	お互いの活動を知るだけではなく、社会の課題に対して異分野の方々と話をしてみるという場があれば面白いのではないかと思います。そうすることで考え方や見方が変わると思えますし、もっとお互いを知ることにつながれば協働で何かという可能性も考えられると思います。	今回から協働推進委員会に携わらせていただいておりますが、このようなアンケートは毎年行っているのですか？また協働推進における川口市としての進め方などについて新たな試みや検証などは行われているのでしょうか？
3	清水委員	団塊世代が高齢期に入り、かつてない位ボランティア活動や地域活動が盛んに行われる様になった。個人・団体・企業等、地域貢献、社会貢献活動が活発になっている。最近まで、「近所づき合いをしない」があたり前という状況から、「声をかけ合う」地域へと変わってきているところもある。この様に、個人情報強調された社会から、「おたがい様」が大事にされる様にと、変わり始めている。この変化を後押しするのが、協働推進の主旨ではないかと思う。現在、企業や団体の中で地域貢献・社会貢献へ、足を踏み出しているところが増えてきている。ますます、「つなげる力」「つなげる人材の育成」が重要になっている。	ボランティア見本市やホームページからの「おしらせ」だけでなく、多面的に場づくりが必要である。今、独居やひとり親世帯も増加している。世代を限定せず、相談できる場、行くところがあるという事が大事である。しかし、立ち遅れている空き家や助成金等、行政からの支援は求められている。(多世代食堂、カフェ、パンフレット)	NPO法人だけではなく、社協、シルバー団体、生協各団体のたすけあいの会、サロン、サークル、企業の活動等、横断的に掌握する場(=協働推進課?)が必要である。同時に交流する場の提供も大事である。
4	谷田部委員	多くの市民活動団体の活発な活動、発信力、行政と共に歩む姿が、非参画の市民には見えていない。(内輪で完結している)	市内の行事やイベント等に積極的に出展し、認知度をあげ、ハードルをより低くする。「他人事から自分事へ」その積み重ねが社会が抱える問題の気づき、関心となり「動」となると思います。	川口には、郷土の宝がたくさんあります。自然、モノづくり、人等々。先人達が造りあげてきた「輝きのある街」。これからの世代へと更に受け継いでいきたいです。
5	山際委員	協働の概念や内容の理解を委員の間で深めることが、まず必要だと思います。条例の基本趣旨である「まちはみんなで作るもの」や自治基本条例の制定趣旨(前文)の理解が重要だと思います。私は川口に住み始め20年以上になりました。わが町川口の「ふるさと」実現に向けて、世代を超え、互いを尊重しあい協力してまちづくりをしたい。公民館で行う市民講座などで協働の事例を含めて紹介するのも良いのではと思います。	何よりもチームワークが大事だと思います。一人でできることには、制約がありますから。協働推進への市民参加に障壁が無いように工夫することが必要だと思います。「まちづくり」への市民参加手法として「ワークショップ」があります。例えば川口では、幸町小学校に接する細長い用地の土地利用のあり方、等を議論したらと思います。お隣の戸田市や蕨市ではワークショップの活動があるように聴いています。	私は社会福祉協議会が取り組んでいる市民後見人養成制度に関心を持っています。法務関係者(士業の方々等)だけでは無く、市民後見人候補者が中心に参加する「チームワークでの高齢者見守り」が今後、重要になるのではと思います。高齢者が、サポートを必要とする高齢者を見守りする制度の充実が求められているのではと思いました。
6	邊田委員長	外国人の居住者が増えて、言葉の問題や生活習慣の違いからトラブルが起きていて行政だけでは対応しきれない部分も多く、より多くの地域でのコミュニケーションの場が必要と思われまます。	地域活動(町会等)に限れば、参加者の負担を軽減して義務感を減らす。(協力してくれる人が多くなるとできませんが)	転入された方に町会入会を勧めてますか？集合住宅等の建築確認の際、建築主に同様の働きかけをしていますか？
7	足立副委員長	私は、西川口で仕事を行っていますが、もともと外国人(特に、中国、韓国、クルド)が多い地域です。外国人の方々と協働推進事業がもっと積極的に必要ではないかと思うのですが・・・。	HPや情報誌の掲載はもろんなのですが、どれも個人が必要と思って見に行く、とりに行く物だと思う。興味のない人の目にもとどくように、又、同時に懇親を深める事の出来るイベントが必要では。	そもそも、協働とは何？と言う所だと思う。一般の人達は、まったくわからない事だと思うし、又、関係無いと思っている人が大半だと思う。広く周知、興味を持ってもらう事を考え実行する必要があると思う。
8	別府委員	・地域の特色・特性により、協働への関心・理解にも特徴がある。 ・担い手となるボランティアの育成については、目的が「裾野を広げる(発掘)」「レベルアップ(強化)」「リーダー・スタッフの育成」によって取り組む方向性が変わってくる。	・団塊の世代が全員75歳となる「2025年問題」や「児童虐待」など、地域社会が抱える諸問題を前に、なぜ今、協働が必要とされているのかを改めて伝えていく必要があるのではないかと。 ・地域(または団体)による好事例を写真や動画を通して伝える(プレゼン)機会を作り、好循環を図ってはどうか。※パブリシティの活用。	・三世代が交流できるような活動はボランティアの「発掘」「強化」と将来の「リーダー・スタッフ育成」に繋がる有意義な交流の場だと考える。 ・実際に孤立している高齢者や子育て世代は、自ら問題を発信することも、積極的に社会参加することも難しいため、情報提供・声かけの機会を工夫(必ず出かける買い物:商店、等)する必要がある。
9	石橋委員	市内には多数の市民活動団体があるが、活動資金の確保や団体の担い手不足などに悩んでいる団体が多いのではないかと。先進事例の提供が必要。	団体活動の運営にあたり、悩んでいる団体に対してのコーディネーターからのアドバイスを受けられる体制があれば良いと思う。	
10	武井委員	まずは、川口市がどの程度に協働推進を図ろうかと考えているかだと思います。要求するレベルによっては、費用も労力も多大にかかると思います。ほとんどの市民は、仕事場や学校との往復のみの生活で、自らがどのように町の活動に参画しているかの意識はないと思います。行政やいろいろな団体の活動を知る手段や1歩を踏み出すきっかけを学校や地域の団体でつくる必要があります。ただし、いろいろな活動は、始めることはできても永く継続することは非常に困難です。それぞれの団体のみで解決できない課題は、行政も入り、他の団体での解決事例等のノウハウを共有することで活動のリーダーシップを適度にとる必要があるのではないのでしょうか。		
11	石坂委員	①協働を進めていくうえでのガイドライン(協働の指針)の作成・整備 ②情報誌による普及・啓発(市内活動団体の紹介や助成金情報など) ③職員への啓発・研修(庁内に協働推進委員を配置する・・・)		

川口市協働推進委員会委員名簿

	役 職	氏 名	所 属 団 体 等
1	委 員	泉 大輔	市民公募
2	委 員	大谷 友希	市民公募
3	委 員	清水 恵子	市民公募
4	委 員	谷田部 千春	市民公募
5	委 員	山際 誠	市民公募
6	委 員	関根 雅美	川口の男女共同参画を考える会
7	委 員	高橋 陽子	N P O 法人太陽の輪 代表理事
8	委 員 長	邊田 武久	前・朝日東地区連合町会長 前・弥平2丁目町会長
9	副委員長	足立 朱美	日本商工会議所青年部平成26年度広 報委員会委員長 川口商工会議所会員
10	委 員	別府 さつき	社会福祉法人 川口市社会福祉協議会事務局長
11	委 員	前原 博孝	川口市議会議員
12	委 員	石橋 俊伸	川口市議会議員
13	委 員	武井 美親	グラウンドワーク川口会長 埼玉建興株式会社代表取締役社長
14	委 員	荻山 孝夫	(川口新郷工業団地協同組合) 株式会社岩宗鑄造所 代表取締役
15	委 員	石阪 督規	埼玉大学 教育機構 基盤教育研究セ ンター 教授

【参考】 町会及び自治会との協働事業等に関する調査について（一覧）

（平成28年度調査）

番号	事業等名称	協働先	担当課
1	平成27年国勢調査	全町会および自治会	企画経営課
2	自主防災組織活動補助金	市内226町会・自治会（自主防災組織結成済みの町会・自治会）	防災課
3	町会防犯灯電気料補助金	町会防犯灯を設置・管理する町会・自治会	防犯対策室
4	町会防犯灯設置費補助金	町会防犯灯を設置・修繕する町会・自治会	防犯対策室
5	自主防犯組織活動補助金	町会・自治会等の自主防犯組織	防犯対策室
6	防犯カメラ設置費補助金	防犯カメラを設置する町会・自治会	防犯対策室
7	防犯街頭キャンペーン	川口駅周辺（中央地区・幸栄地区・西地区）の町会・自治会	防犯対策室
8	西川口駅周辺クリーンタウン作戦	西川口駅周辺（並木地区・西川口地区）の町会・自治会	防犯対策室
9	川口市協働推進事業助成金 （都市整備区域内外国人住民生活情報伝達モデル事業）	芝園団地自治会	協働推進課
10	川口市立青少年センター管理業務委託	仁志1町会、元郷2丁目町会、並木3丁目町会、芝富士町会 みどりヶ丘町会、栄町1丁目町会	青少年対策室
11	町会（自治会）青少年育成委員	205町会（自治会）（平成28年度4月現在）	青少年対策室
12	公民館地区青少年育成協議会	公民館地区33地区（青木東公民館を除く）	青少年対策室
13	全市一斉クリーンタウン作戦事業	19地区連合町会	廃棄物対策課
14	3R推進活動等助成事業	市に登録された全町会・自治会	廃棄物対策課
15	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015・2016	上青木地区連合町会	産業政策室
16	川のまるごと再生プロジェクト	本蓮町会、東本郷南町会	道路建設課
17	市民参加の緑のまちづくり事業	青木町5丁目町会、上青木南町会、川口2丁目町会、飯塚1丁目町会、上青木6丁目町会、青木町4丁目町会、青木中央町会、前川3丁目町会、朝日6丁目南町会、伊刈町会、南4丁目自治会、本町1丁目町会、末広1丁目町会、東本郷台町会、上戸塚町会第7班、元郷2丁目町会、上戸塚町会第5班、峯南区八班自治会、安行藤八町会、末広3丁目町会、南4丁目自治会、長蔵新田町会	みどり課
18	緑のまちづくり地域緑化事業補助金	川口1丁目町会、飯三町会、東領家5丁目町会、飯塚2丁目町会、スカイフロントタワー川口自治会	みどり課
19	芝地区住宅市街地総合整備事業（密集住宅市街地整備型）推進事業	芝富士町会、芝樋ノ爪町会、芝中田町会、芝神戸町会	市街地整備室